

株式会社アイザック パッケージ事業本部野木工場

工場竣工 1994年 9月（会社設立 1963年 7月 2日）

所在地 栃木県下都賀郡野木町佐川野 1075-1

従業員数 57名(2016年 1月 20現在)

主な事業内容 一般的なダンボールや発泡スチロールと同等の断熱保冷機能などを持つ機能性ダンボールの製造販売を中心に、その他包装資材の販売も行っています。ダンボールは、扱いやすく、丈夫であり、商品イメージを表現するのに大切な役割を果たしています。加工が容易であることから、最近はダンボールパレット、商品展示用 POP、住宅用材などとしても使われています。また、リサイクル率は長きにわたり8割以上を維持し、リサイクルの優等生とも呼ばれています。私たちは、ダンボールの優れた機能を維持しながら、新たな可能性を追求し、他社には無い特殊ダンボールを開発しています。



《社員のひとこと》

野木町に進出し 22年、変わらない信念と共に変わり続ける企業として、微力ながら地域社会の発展に貢献出来るよう取り組んでいきたいと思っています。
(業務グループ 松村 誠)

広報連絡委員レポート No.359

寒い朝の温かい一日

広報連絡委員
寶示戸 英夫

ある3月の寒い朝、交通指導員として立哨している時に1台の自転車が止まりました。ふと見ると、毎朝見かける高校生でした。私の立哨している場所に来て一礼し、「3年間お世話になり、ありがとうございました」とあいさつをして、いそがしくまた自転車に乗り学校へとおかって行きました。あまり突然でしたので話しも出来ませんでした。なぜわざわざあいさつしてくれたのかなと思ひ返し、あつそつか今日は卒業式のだなど後になり思い出しました。早く気がつけば「おめでとう、3年間がんばったね」と言葉をかけられたのに、といまでも残念に思っています。私もあいさつはかわすけれども、なかなか感謝のことばを口に出すことは出来そうもないです。あれから数年がたち、あの高校生もいまでは立派な社会人となり活躍していることだと思っ

ています。小さな出来事でしたが、あれいまでも心に大きく残る思い出です。

寒い1日でしたが心の温かい日となりました。これを励みに、よりいっそう、こども達の交通安全事故減少の為に一生懸命努めていきたいと思っています。

平成27年9月関東・東北豪雨災害見舞金

当町を襲った集中豪雨では、早々にご厚情あふれるお見舞いをいただきました。

平成27年度内にいただいた見舞金は、今回を含み合計で517万円となります。

お見舞いをいただいた方々に感謝申し上げ、いただきました見舞金は、災害復旧にあたる貴重な財源として有効に活用させていただきます。

(敬称略)

東京都大島町 12万5千円

問 総合政策部政策課 ④(57) 4 1 1 6